

ドローン技術の最新動向

近年、産業用や商用など、ドローンの市場規模は年々拡大し続けています。農業、測量、災害対応、物流、インフラ点検など様々な分野での活用が広がっているドローンについて、研究開発の第一人者である野波健蔵氏をお迎えして、ドローンの最新技術や活用動向、今後の展望について解説していただきます。

また、ドローンの活用の一例として、インフラ構造物の点検などで、ドローンを活用した企業の先進的な取り組みについても紹介します。

日時：令和元年 **7月11日（木）** 14:30～17:00

会場：金沢市異業種研修会館（金沢市打木町東 1400）

参加費：無料



【セミナー】（14:30～16:30）

① ドローン技術の現状と展望

千葉大学名誉教授

一般財団法人先端ロボティクス財団 理事長

一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 会長 野波 健蔵 氏

日々進化を続けているドローンについて、その最新の技術動向について紹介するとともに、今後ドローンがどのように進化していくのか、これからの展望について解説します。

② 点検支援ロボットによるインフラ構造物点検の事例

三信建材工業株式会社 代表取締役社長 石田 敦則 氏

三信建材工業株式会社では、次世代の調査・点検システムとしてドローンを活用したシステムの開発を進めています。今回のセミナーでは、インフラ及び各種構造物点検事例等について紹介します。

【情報交換会】（16:30～17:00）

講師や他の参加者との情報交換を行います。

《講師紹介》

野波 健蔵 氏	1979年東京都立大学大学院博士課程修了、1985年米航空宇宙局（NASA）研究員・シニア研究員、1994年千葉大学教授、2001年小型無人ヘリコプタの完全自律制御に日本で最初に成功、2008年千葉大学理事・副学長（研究担当）、2011年日本学術会議連携会員、2012年ミニサーベイヤーコンソーシアム会長（現一般社団法人日本ドローンコンソーシアム会長）、2013年大学発ベンチャー「(株)自律制御システム研究所」を創業し代表取締役 CEO に就任（2018年取締役会長）、2014年千葉大学特別教授（千葉大学名誉教授）、2019年一般財団法人先端ロボティクス財団を設立し理事長を務める。
石田 敦則 氏	1984年法政大学経済学部卒、三信建材工業(株)入社、1993年取締役、2005年代表取締役社長、2014年インフラ点検用ドローンの共同開発を千葉大学野波特別教授とスタート、国交省「次世代社会インフラ用ロボット検証」に採択、2015年「中部圏インフラロボットコンソーシアム」、「あいちロボット産業クラスター無人飛行WG」に参加、2017年一般社団法人日本ドローンコンソーシアム理事及び中部市域部会部会長、一般社団法人日本建築ドローン協会理事、経済産業大臣より「地域未来牽引企業」に選定、2019年国土交通省の橋梁における「定期点検要領」新技術性能カタログに採用される。

■ 申込方法：F A X（076-240-1903）又はEメールにてお申し込みください。

■ 申 込 先：金沢市産学連携事業運営委員会事務局
 金沢市異業種研修会館 担当 南
 TEL：076-240-1934
 FAX：076-240-1903
 E-mail：minami_m@city.kanazawa.lg.jp

詳しくは、Webサイト
 「金沢市産学連携ネットワーク」
 をご覧ください。

金沢市産学連携ネットワーク

「先端ものづくり技術交流セミナー(第1回)」参加申込書

企業名			
所在地 〒			
TEL		FAX	
参加者	役 職	氏 名	E-mail

※申込みを頂いた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内をさせていただく場合があります。